

# ポピュリズム時代の日本政治

政策研究大学院大学教授  
飯尾 潤 じゅん

- \* 守り一辺倒の組閣
- \* 9条抜き憲法改正？
- \* ポピュリスト台頭の背景
- \* 政治的共同体の揺らぎ
- \* 方向性を喪失した野党
- \* たまる変動のマグマ
- \* 国と地方を通じた公務員の疲弊
- \* 参議院選挙と今後の政局
- \* 日本にもポピュリズムが来る？
- \* 参加型行政の持つ可能性



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、先週に続きまして政治のお話です。

先週の曾我さんのお話は政局と政治のお話を中心でしたが、今日は飯尾先生から、もう少し大きな枠組みで理論的かつ学問的なお話が聞けるはずで、先週とは違う趣で政治のことが理解できると思います。もう安倍三選の騒ぎも収まりまして、新しい内閣も発足いたしました。実は日本はたいへんな問題をいろいろ抱えているわけで、こういうなんとなくぬるま湯の状況でいいのかどうかという気がいたします。今日は、そういうところもすっきり納得出来るお話をぜひお聞きしたいと思います。

それでは先生、よろしくお願いたします。（拍手）

## 守り一辺倒の組閣

飯尾 よろしくお願いたします。

先週は政局の話をじっくりお聞きになったと聞きまして、さてという気もいたしました。どちらかというと今日はもう少し大きな話をいたします。ただ、話の中身が見えないことについてお話をすることなので、そんなにわかりやすいお話、たとえば人名が出てきて、次の総理はこの人だとかいう話だといいたいです。ただ、そうではないことをお話しいたします。ただ、抽象的なことばかり言っても駄目ですので、最初は直近の話題から始めます。

自民党総裁選挙で安倍三選、これを疑う人はほぼなかったという点では、政治部の記者の皆